

保護者各位

世田谷区立桜丘中学校
PTA 会長 松浦 夏乃
厚生委員長 辻 桂子

第二回 家庭教育学級 報告

～橋口真樹子先生 講演～

「思春期の子どもを笑顔で応援できるお片づけの基本」

初夏の候、本年度第二回家庭教育学級を開催いたしましたのでご報告いたします。

- ・開催 桜丘中学校 PTA
- ・講師 親・子の片づけ教育研究所 理事 橋口 真樹子 先生
- ・開催日 平成 29 年 7 月 15 日 (土) 10 時～12 時
- ・参加人数 44 人



<講演内容>

1. 「いい収納」とは？
2. 片づけは「生きる力」を育む
3. 子どもとの片づけで大切な二つのこと
4. 「すぐに片づく」我が家のコツ

<講演の概要>

1. 「いい収納」とは？ ⇒ 「わかる」が先、「きれい」は後
「わかる」とは整理されている状態。「きれい」とは整頓されている状態。「いい収納」において、「わかる」状態は必須、「見た目もきれい」な状態はオプションであり、子どもがわかりにくいならば「きれい」である必要はありません。
2. 片づけは「生きる力」を育む ⇒ 「生きる力」のしつけは、長期的なプロジェクト
片づけは ①選ぶ力 ②思いやりと責任感 ③続ける力 を育みます。
人生において ①選ぶ力 は大切。片づけは「選ぶ」練習。自分という人間を知り、「要る」「要らない」を判断していくことです。②思いやりと責任 は周りが不愉快にならないよう、「周りのことを考える」こと。そして、③続ける力 は何においても大切です。
3. 子供との片づけで大切な二つのこと
① 片づけやすい仕組みづくり ⇒ 楽でないと続きません
② 子どもとの上手な関わり方 ⇒ 思春期は特に大切です
仕組みがあっても良好な関係性がないと実行してくれません。思春期の子どもの難しさは、「関わり方」にあります。
4. 「すぐに片づく」我が家のコツ ⇒ いざとなったら「すぐに片づく」仕組みを作ること
① 定位置＝「使う場所」に収納
定位置とは元に戻す場所のこと。定位置は「使う場所」の近くであることがポイントです。
② 適量＝スペースに収まる量
・スペースをなるべく確保 → 「ここに入るだけ」を見える化して徹底。
※まだ、中学生は親が量をコントロールできる年代。「ここに入るだけ」の量の徹底が大切です。
・「要・不要」の判断は子どもに任せる
→ 「捨てる」判断は概ね親と子どもで真逆。モノのやりくりは子どもに任せることが大切。

・「使っている・使っていない」で考える

→ 「要・不要」の判断基準は「使っているか」「使っていないか」

「要らないよね」より「使っていないよね」と言われた方が、納得感があります。

③ 収納法＝引出しと棚を制する

・引出しは仕切る・立てる → 上から見たら全ての配置がわかるように。下にモノを入れない。

・棚は、高さを区切る、箱やかごでまとめる

★勉強コーナーに必要なのは「棚スペース」

★「ラベリング」などで科目ごとに仕切るなど、子供にとってわかりやすい工夫が大切

★プリント整理は行き先を用意する

例えば… 未整理プリントは出しっぱなし

プリントは中身が見える「科目別ファイル（見やすくラベリング）」に仕分け

要らないプリントは「捨てるファイル」へ

④ 関わり方＝思春期の心に寄り添う

中学生は「時間がない・体力がない」「勉強・部活・人間関係が大変」「大人はわかってくれない」

「家では疲れを癒したい」と思っており、「片づけ」どころではありません。そこで…

・「OK レベル」を下げる

・「家族の迷惑」は毅然と伝える

・「本人が困っている部分」をサポート

・時にはあえて、「やってあげる」

・やった時こそ、「気がついてあげる」

・まずは「自分のスペース」から始めてみましょう

<質疑応答>

Q1 「使うかも」と思うと捨てられません。どうしたらよいですか？

A1 不安要素があれば、取っておいて後で判断させればよいのでは。使いやすい収納はいつも使うもの。あまり使わないものは場所を分けて収納するのもあります。少し不便などところにある収納でも OK です。

Q2 夫婦で「片づけ」のイメージに差があるのですが・・・。

A2 パートナーも子どもも一緒です。相手が都合の良い方向に自分自身が合わせることも大切。見た目などを工夫して、自分自身がイライラしないようにしましょう。

<まとめ>

橋口先生は「住まい」は人が主役、と総括しておられました。その「住まい」において、子どもと良い関係を作り、「嬉しい」も「辛い」も聞いてほしい相手になることが大切です。「片づけ」を通して、家族の居心地の良いスペースづくりができることを教えていただいた、貴重な講演となりました。

<アンケートより> *アンケート回収分 39名

- | | | | |
|-----------------|--------------|------------|-------------|
| ① 今回のテーマについて | 興味があった…38名 | どちらでもない…1名 | あまり興味がない…0名 |
| ② 開催内容はいかがでしたか？ | 満足…38名 | 不満足…0名 | どちらでもない…0名 |
| ③ 講演時間について | 長い…5名 | ちょうど良い…34名 | 短い…0名 |
| ④ 開催日時について | 参加しやすかった…34名 | どちらでもない…5名 | 参加しにくかった…0名 |

・学校から配られたプリントが大量にあるので、捨てる前に入れるプリント BOX を作ろうと思う。

・片づけだけでなく、子どもとの関わり方を学びました。もう中学生なんだから、ではなく、まだサポートが必要と視点を
を変えて子どもと接していきたいです。片づけはあせらずゆっくりしていきます。

・子どもや家族が収納しやすいスペースを作っていきたいと思いました。

・片づけを子どもに合わせてサポートするのも大切なのだと思いました。

次回、第三回家庭教育学級は10月17日（火） 多目的室にて行う予定です。